

みつけコミュニティ・スクールナビ



令和5年 6月23日 第71号

学校と地域の連携が一層深まる一年に！

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、各学校では、より一層地域の皆様と学校との「協働」の学びが展開されるように、工夫を凝らして教育活動を進めています。右のように、令和4年度地域の皆様から市内の各学校へ関わっていただいた延べ人数は、令和3年度と比較して増加しています。見附市では、新型コロナウイルスの影響が学校と地域の結び付きにおいて影響があったものの、学校に協力していただける地域の皆様の思いが、途切れることはなかったと受け止めています。今年はいよいよ一層の連携を進める「リスタート」の一年と考えられます。各学校と地域が手を携えて、教育活動を展開していただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和元年度	9172人
令和2年度	5030人
令和3年度	5816人
令和4年度	6091人

学校に関わったのべ人数

「学校運営協議会委員」「地域学校協働本部委員」合同研修会 6月9日(火)

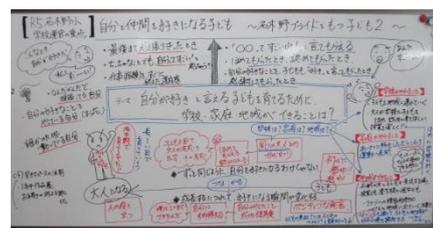
～各学校において「ZOOM研修」と「熟議」を開催～

学校運営協議会委員と、地域学校協働本部委員の皆様を対象に、市として研修会を実施しました。第一部の研修は「地域とともにある学校づくり」をテーマに、文部科学省CSマイスターである新潟薬科大学 大山賢一様より、各学校に参集した皆様へオンラインで講演会を実施しました。その後の第二部の研修では、各学校において自校の実態に即して、学校と地域との連携に係わる「熟議」を行いました。



【研修会の様子(新潟小)】

講師の大山様より「学校運営協議会と地域学校協働本部の役割を明確にする」「学校と地域とで、目指したい子供や学校の姿を共通に理解する」「活動の評価を地域と共に行う」等の多くの具体的な話をいただきました。その後の学校ごとの「熟議」では、講演内容を踏まえて、参加者で自校の目指す子どもの姿について理解を深めたり、実際の連携の活動について話し合いを進めたりする様子が見られました。



【熟議のメモ(名木野小)】

【参加者の主な声】

- ・講師の方の説明が実態に合い、実現可能性の高い提案もあって大変参考になった。
- ・大人が学校と関わることで、子どもたちの成長に少しでも良い影響を与え、将来自立した成人へと育ててくれればと願い、これからも自然体に関わり続けたいと思った。

◎お知らせ 新潟県コミュニティスクール研修会 令和5年10月5日(木) 午後 オンラインで開催です。

各学校の管理職の先生を通じて参加案内がありますので、ご都合のつく方は是非参加をお願いします。詳細は各校の管理職(地域連携担当教員)まで、お問い合わせください。

発行：見附市教育委員会 学校教育課 電話 0258-62-1700 F A X 0258-63-5003

E-mail : gakkyou@city.mitsuke.niigata.jp

URL : <https://www.city.mitsuke.niigata.jp/mt/>